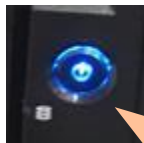


装置の立ち上げ

- スタートアップ
- ウォームアップ

スタートアップ

1. 電源ボタンを押してください。



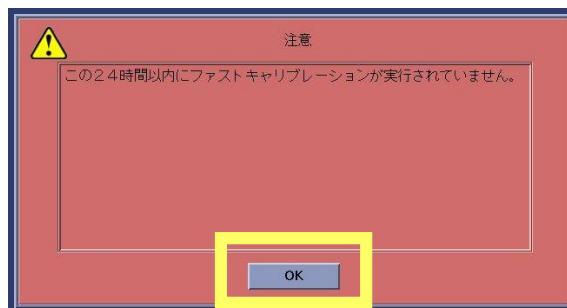
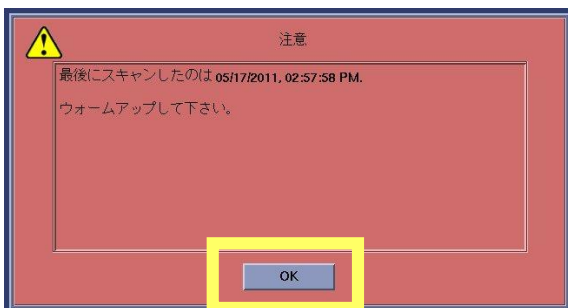
押すと起動して青く光ります。

モニターが右のような画面になったら立ち上げ完了です。

約5分ほど要します。



2. 下のようなメッセージが出た場合は「OK」をクリックして、メッセージを閉じます。



ウォームアップ

※管球保護のため、前回のスキャンより**2時間以上経過**した際には実施してください。

1. 【デイリープレップ】をクリックします。

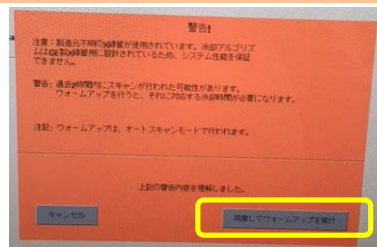


デイリープレップ画面を開くボタン

2. 【ウォームアップ】をクリックします。



ウォームアップをクリックするとメッセージが表示されます。【同意します】をクリックし、ウォームアップを実行してください。



3. 【スキャン開始】ボタンが点滅します。押ししてください。



スキャン開始ボタン

4. 終わったら画面左下の【終了】ボタンをクリックして、デイリープレップ画面を閉じます。

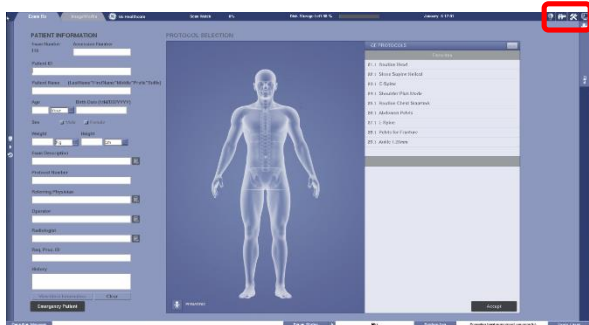
検出器の調整

■ キャリブレーション

ファストキャリブレーション

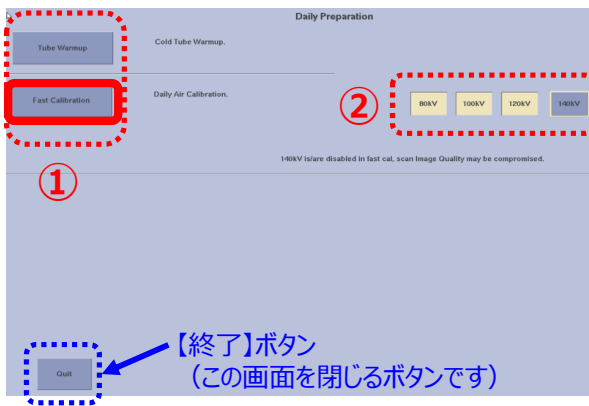
※安定した画像を得るために、24時間に1度行ってください。

1. 【デイリープレップ】をクリックします。



デイリープレップ画面を開くボタン

2. 次に【ファストキャリブレーション】をクリックします。



- ① ファストキャリブレーションを選択する
- ② 日頃使用する管電圧を選択する
※CT検査は120kVを使用するのが一般的です。120kVは必ず選択してください。

3. ファストキャリブレーション画面が開いて、【スキャン開始】ボタンが点滅します。押してください。



スキャン開始ボタン

4. 終わったら画面左下の【終了】をクリックして、デイリープレップ画面を閉じます。

シャットダウン

装置のシャットダウンは装置の電源を切る作業です。

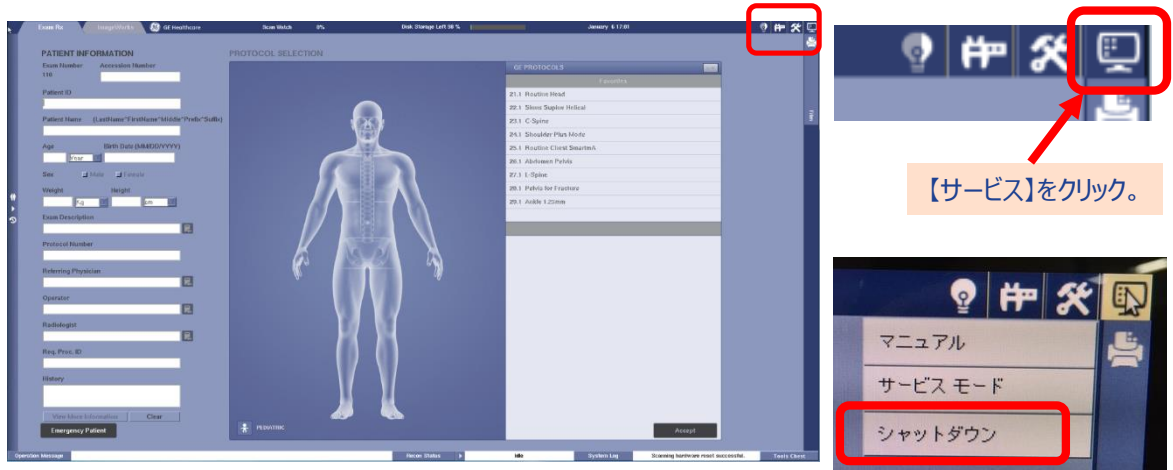
以下の作業が完了していることを確認してシャットダウンを行ってください。

- 検査が終了していること
- 画像転送が終了していること
- フィルム出力が終了していること

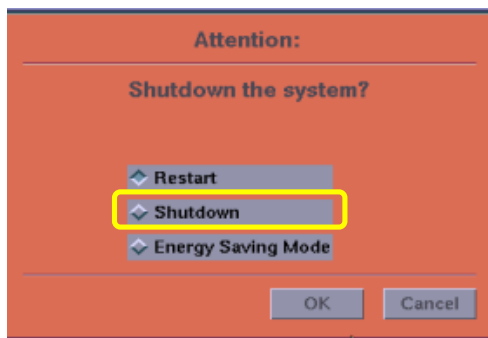
■ シャットダウン

シャットダウン

1. 【サービス】をクリックし、【シャットダウン】をクリックします。



2. 下のような画面が出てきます。
【シャットダウン】を選択し、【OK】をクリックします。



3. 約1分後に自動的に電源が切れます。

CT検査手順

■ 頭部CT検査

頭部CT撮影

1. 患者さまのセッティングを行います。

- ①患者様を寝かせて、ポジショニングライトボタンを押し赤いライトを表示させます。
- ②赤いライトが患者さまの左右の目を結んだ付近に来るように、寝台を動かします。
寝台の高さは、頭部の厚みの真ん中くらいになるように、調整します。
- ③赤いライトで合わせ終わったら、【ポジショニング決定ボタン】を押します。



内側のライトで合わせたらコチラを押す。
ガントリー上の数値は【0】と出る。



外側のライトで合わせたら、コチラを押す。
ガントリー上の数値は【190】と出る。

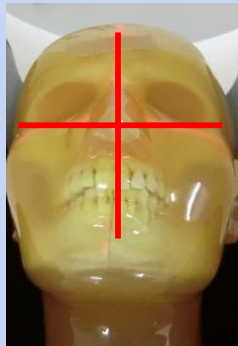
①ポジショニングライトボタン
押すと赤いライトが出ます

③ポジショニング決定ボタン
赤いライトで合わせ終わったら押します。

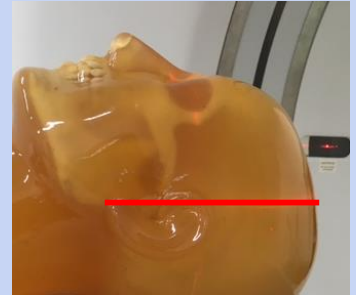
②赤いライトを合わせる



頭部撮影時には、必ず
ヘッドホルダーをご使用ください



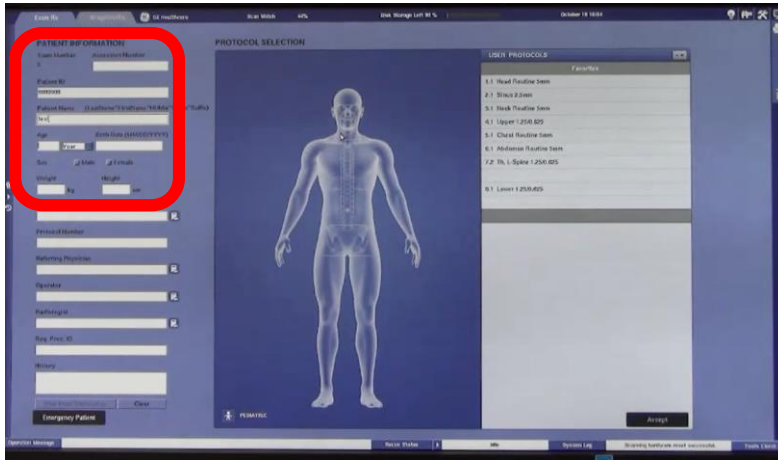
上から見た時の赤いライトは、
患者の左右の目を結んだ
ラインに合わせる



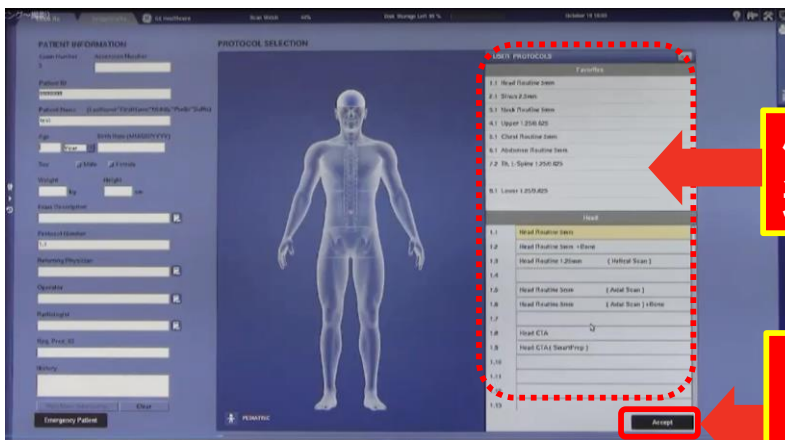
高さは患者体厚の真ん中に
合わせる

2. 撮影を行います。

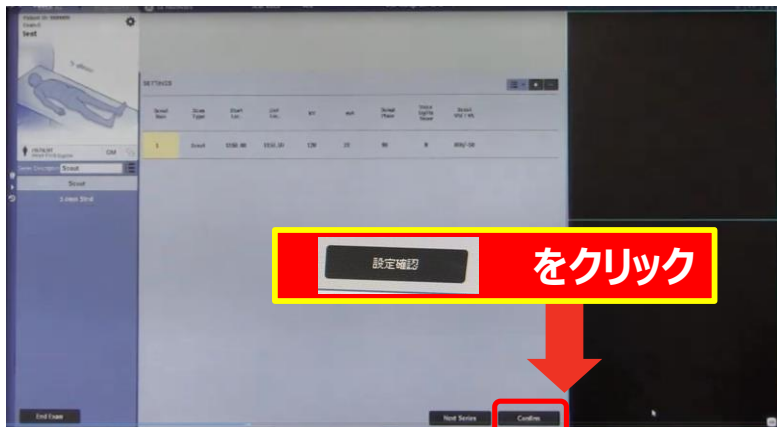
1. 患者情報を入力します。 ※ID入力は必須です。



2. 撮影プロトコルを選択して、画面右下の【確認】をクリックします。



3. スカウト撮影画面が表示されます。【設定確認】をクリックします。



4. 操作キーボードの【テーブル移動】ボタンが点滅します。押してください。



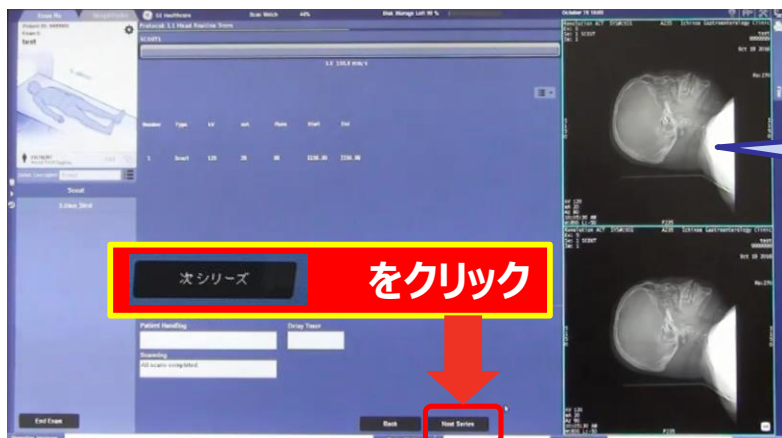
テーブル移動ボタン

5. 次に【スキャン開始】ボタンが点滅します。押してください。



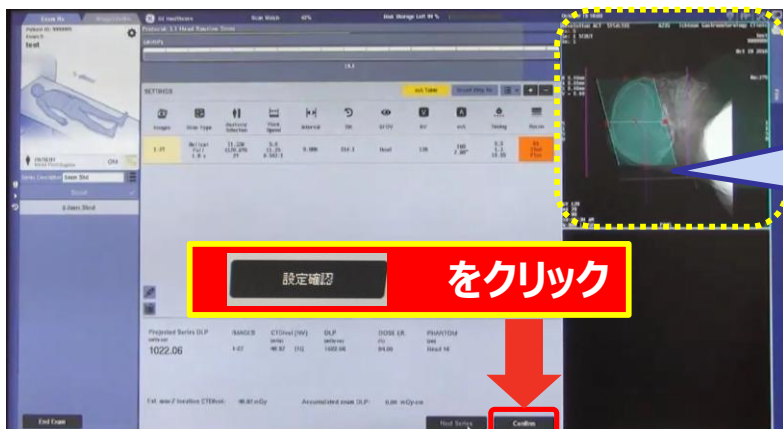
スキャン開始ボタン

6. スカウト画像撮影が終了したら、【次シリーズ】をクリックして、本スキャン画面に進みます。



スカウト画像が表示されます。

7. 自動的にOMラインに角度が付きます。
【設定確認】をクリックして本スキャンを行います。



OMラインの角度を自動で認識します。
もし調整が必要な場合は、○マークをつかんで任意の角度に合わせてください。



8. 終了したら、画面左下の【検査終了】をクリックします。



9. 操作ボードの【ホームポジショニング】ボタンを押して、患者さまを下します。



【ホームポジショニング】ボタン

CT検査手順

■ 胸部CT検査

胸部CT撮影

1. 患者さまのセッティングを行います。

- ① 患者様を寝かせて、ポジショニングライトボタンを押し赤いライトを表示させます。
- ② 赤いライトが患者さまの鎖骨付近に来るように、寝台を動かします。
寝台の高さは、胸部の厚みの真ん中くらいになるように、調整します。
- ③ 赤いライトで合わせ終わったら、【ポジショニング決定ボタン】を押します。



内側のライトで合わせたらコチラを押す。
ガントリー上の数値は【0】と出る。

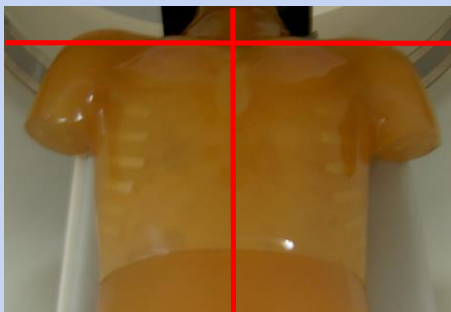


外側のライトで合わせたら、コチラを押す。
ガントリー上の数値は【190】と出る。

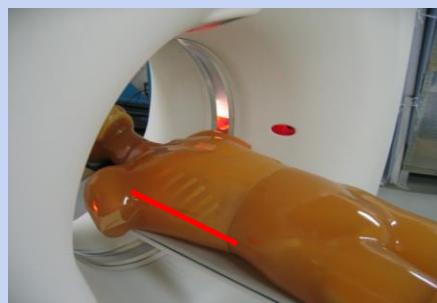
① ポジショニングライトボタン
押すと赤いライトが出ます

③ ポジショニング決定ボタン
赤いライトで合わせ終わったら押します。

② 赤いライトを合わせる



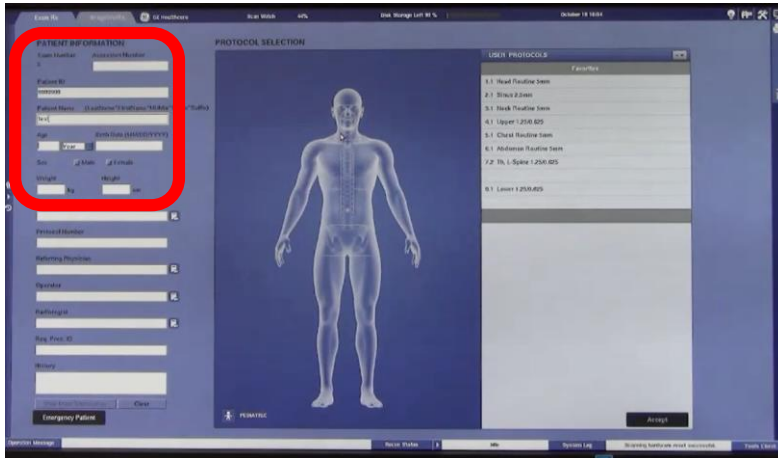
上から見たときの赤いライトは、
患者さま鎖骨付近に合わせる



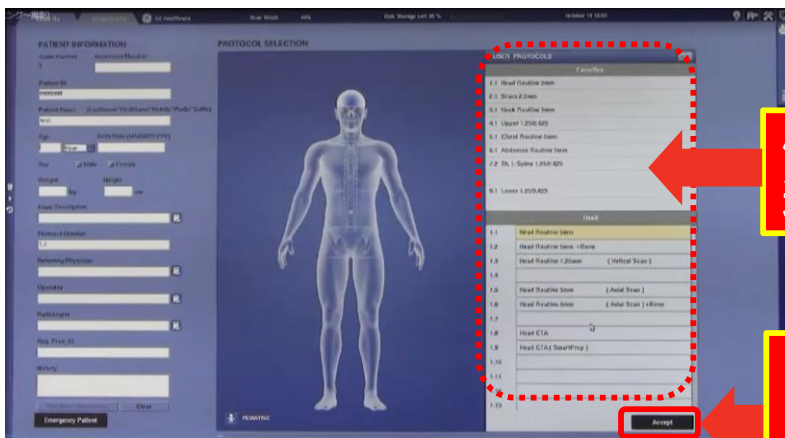
高さは患者体厚の真ん中に合わせ
せる

2. 撮影を行います。

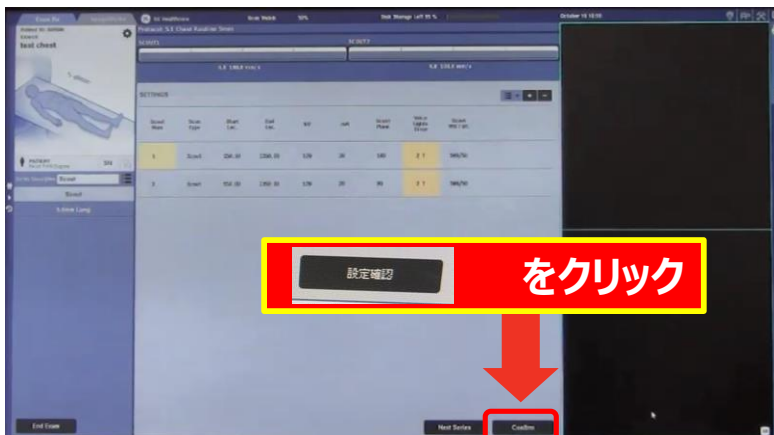
1. 患者情報を入力します。 ※ID入力は必須です。



2. 撮影プロトコルを選択して、画面右下の【確認】をクリックします。



3. スカウト撮影画面が表示されます。【設定確認】をクリックします。



4. 操作キーボードの【テーブル移動】ボタンが点滅します。押してください。



テーブル移動ボタン

5. 次に【スキャン開始】ボタンが点滅します。押してください。



スキャン開始ボタン

6. 【スカウト画像撮影が終了したら、【次シリーズ】をクリックして、本スキャン画面に進みます。



7. 【設定確認】をクリックして本スキャンを行います。



胸部範囲を自動で認識します
もし調整が必要な場合は、
■ □ マークをつかんで範囲を
調整してください。

8. 終了したら、画面左下の【検査終了】をクリックします。



検査終了 をクリック

9. 操作ボードの【ホームポジショニング】ボタンを押して、患者さまを下します。



【ホームポジショニング】ボタン

CT検査手順

■ 腹部CT検査

腹部CT撮影

1. 患者さまのセッティングを行います。

- ①患者様を寝かせて、ポジショニングライトボタンを押し赤いライトを表示させます。
- ②赤いライトが患者さまの剣状突起付近に来るように、寝台を動かします。
寝台の高さは、服部の厚みの真ん中くらいになるように、調整します。
- ③赤いライトで合わせ終わったら、【ポジショニング決定ボタン】を押します。



内側のライトで合わせたらコチラを押す。
ガントリー上の数値は【0】と出る。

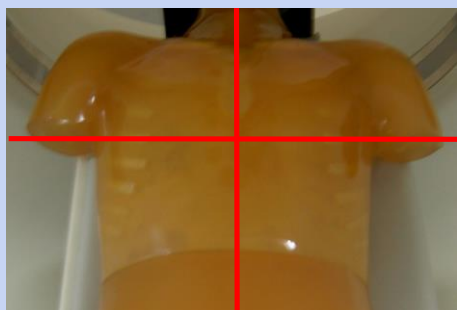


外側のライトで合わせたら、コチラを押す。
ガントリー上の数値は【190】と出る。

①ポジショニングライトボタン
押すと赤いライトが出ます

③ポジショニング決定ボタン
赤いライトで合わせ終わったら押します。

②赤いライトを合わせる



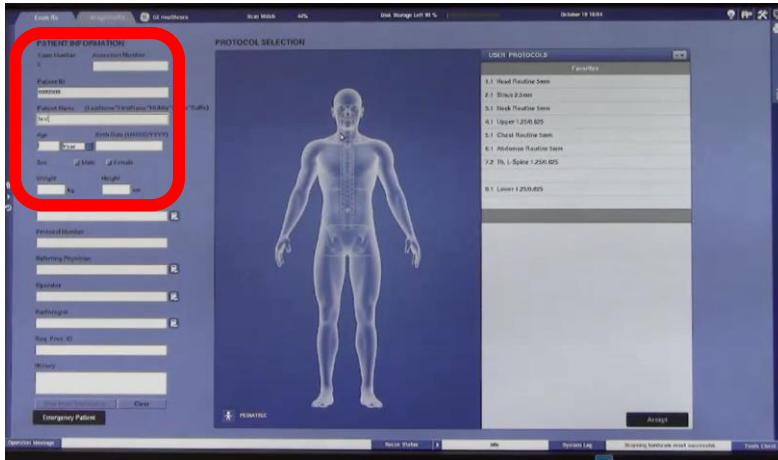
上から見たときの赤いライトは、
患者さま剣状突起付近に合わせる



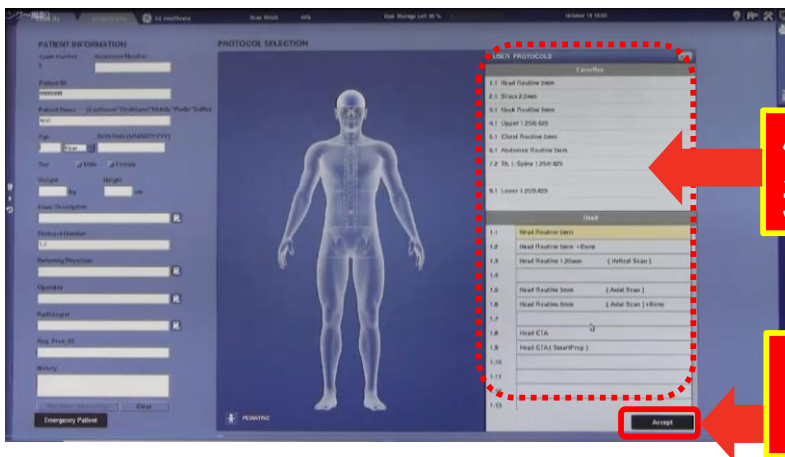
高さは患者体厚の真ん中に合わせ
せる

2. 撮影を行います。

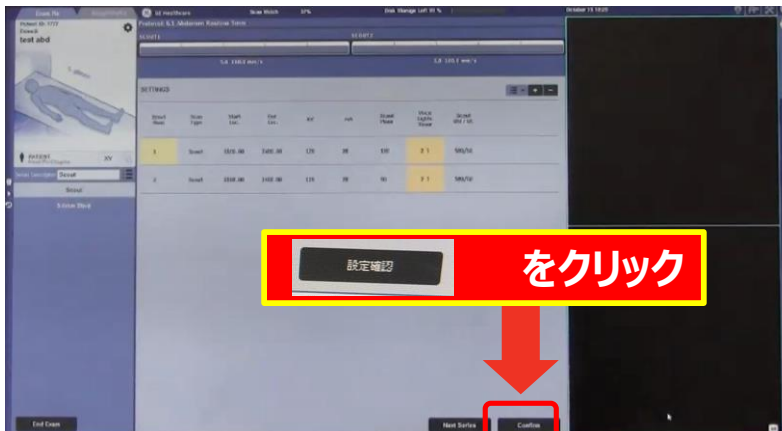
1. 患者情報を入力します。 ※ID入力は必須です。



2. 撮影プロトコルを選択して、画面右下の【確認】をクリックします。



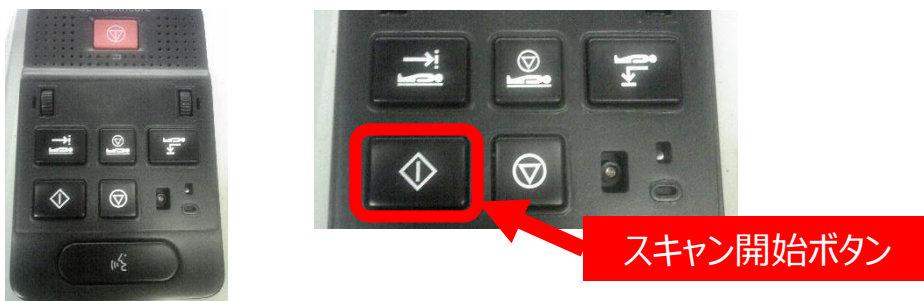
3. スカウト撮影画面が表示されます。【設定確認】をクリックします。



4. 操作用キーボードの【テーブル移動】ボタンが点滅します。押してください。



5. 次に【スキャン開始】ボタンが点滅します。押してください。



6. スカウト画像撮影が終了したら、【次シリーズ】をクリックして、本スキャン画面に進みます。



7. 【設定確認】をクリックして本スキャンを行います。



腹部範囲を自動で認識します
もし調整が必要な場合は、
■ □ マークをつかんで範囲を
調整してください。

8. 終了したら、画面左下の【検査終了】をクリックします。



9. 操作ボードの【ホームポジショニング】ボタンを押して、患者さまを下します。



【ホームポジショニング】ボタン

CT検査手順

■ 副鼻腔CT撮影

副鼻腔CT撮影

1. 患者さまのセッティングを行います。

- ①患者様を寝かせて、ポジショニングライトボタンを押し赤いライトを表示させます。
- ②赤いライトが患者さまの左右の目を結んだ付近に来るように、寝台を動かします。
寝台の高さは、頭部の厚みの真ん中くらいになるように、調整します。
- ③赤いライトで合わせ終わったら、【ポジショニング決定ボタン】を押します。



内側のライトで合わせたらコチラを押す。
ガントリー上の数値は【0】と出る。



外側のライトで合わせたら、コチラを押す。
ガントリー上の数値は【190】と出る。

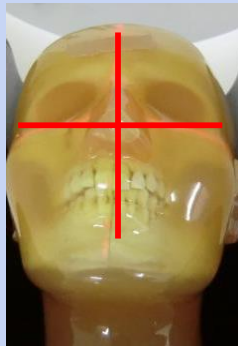
①ポジショニングライトボタン
押すと赤いライトが出ます

③ポジショニング決定ボタン
赤いライトで合わせ終わったら押します。

②赤いライトを合わせる



頭部撮影時には、必ず
ヘッドホルダーをご使用ください



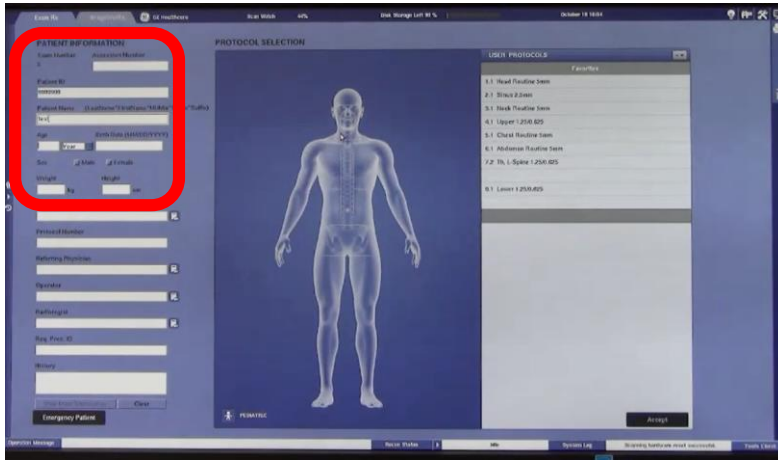
上から見た時の赤いライトは、
患者の左右の目を結んだ
ラインに合わせる



高さは患者体厚の真ん中に
合わせる

2. 撮影を行います。

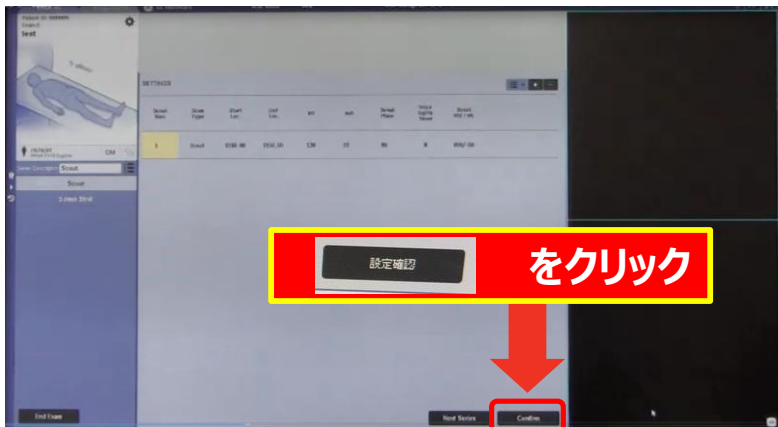
1. 患者情報を入力します。 ※ID入力は必須です。



2. 撮影プロトコルを選択して、画面右下の【確認】をクリックします。



3. スカウト撮影画面が表示されます。【設定確認】をクリックします。



4. 操作用キーボードの【テーブル移動】ボタンが点滅します。押してください。



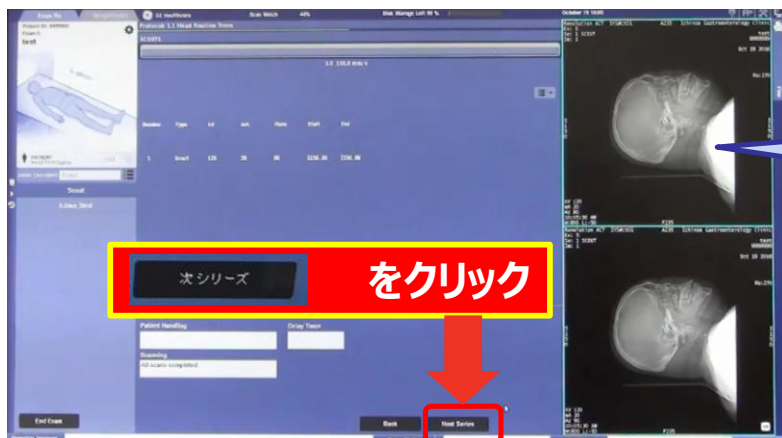
テーブル移動ボタン

5. 次に【スキャン開始】ボタンが点滅します。押してください。



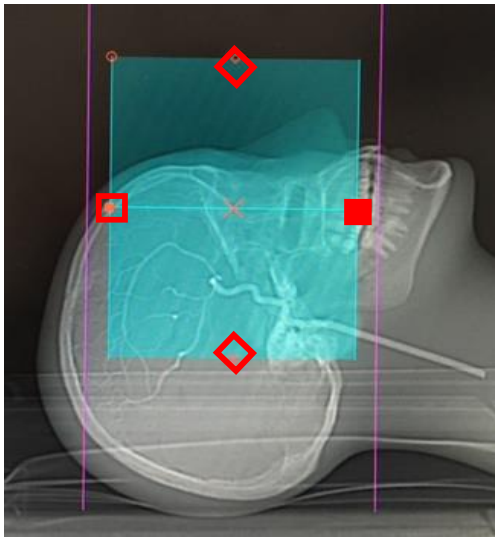
スキャン開始ボタン

6. スカウト画像撮影が終了したら、【次シリーズ】をクリックして、本スキャン画面に進みます。



スカウト画像が表示されます。

7. 撮影範囲の設定を行います。



《撮影範囲の広げ方》

■ および□の上で左クリックしたまま引っ張って伸ばします。

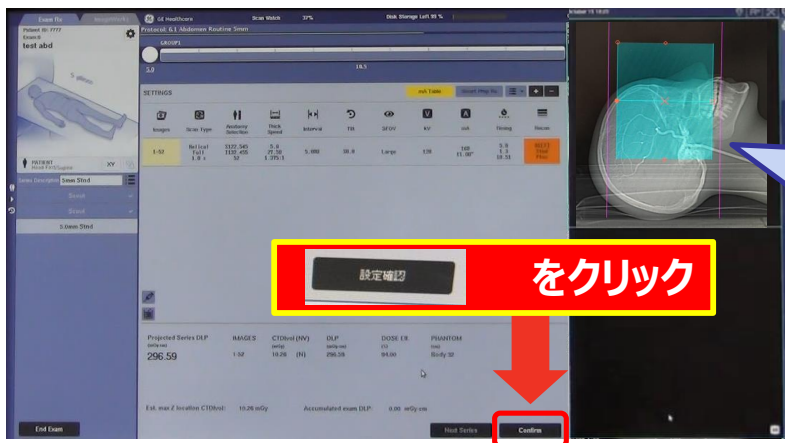
《中心位置の設定》

キーボードの**Shiftキー**を押しながら×の上で左クリックをしたまま動かします。

《上下の幅の変更》

◇の上で左クリックしたまま引っ張って幅の調整をします。

8. 【設定確認】をクリックして本スキャンを行います。



9. 終了したら、画面左下の【検査終了】をクリックします



10. 操作ボードの【ホームポジショニング】ボタンを押して、患者さまを下します。



【ホームポジショニング】ボタン

CT検査手順

■ 腰椎CT撮影

腰椎CT撮影

1. 患者さまのセッティングを行います。

- ① 患者様を寝かせて、ポジショニングライトボタンを押し赤いライトを表示させます。
- ② 赤いライトが患者さまの腸骨稜に来るように、寝台を動かします。
寝台の高さは、椎体が真ん中くらいになるように、調整します。
- ③ 赤いライトで合わせ終わったら、【ポジショニング決定ボタン】を押します。



内側のライトで合わせたらコチラを押す。
ガントリー上の数値は【0】と出る。

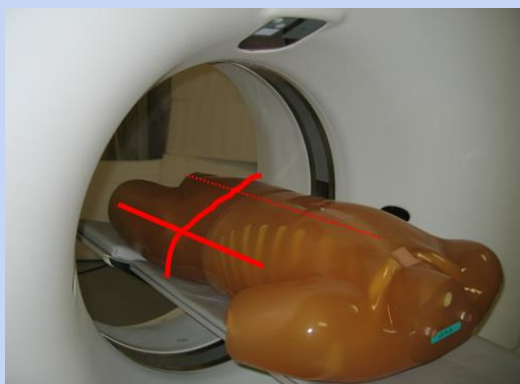


外側のライトで合わせたら、コチラを押す。
ガントリー上の数値は【190】と出る。

① ポジショニングライトボタン
押すと赤いライトが出ます

③ ポジショニング決定ボタン
赤いライトで合わせ終わったら押します。

② 赤いライトを合わせる

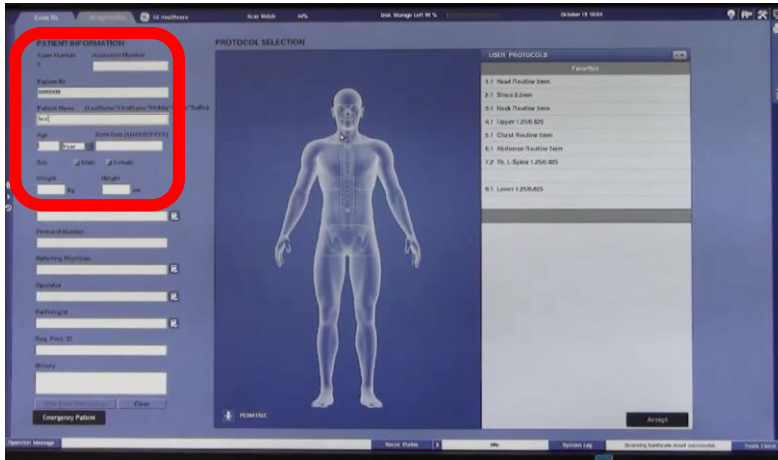


上から見たときの赤いライトは、
患者さまの腸骨稜に合わせる

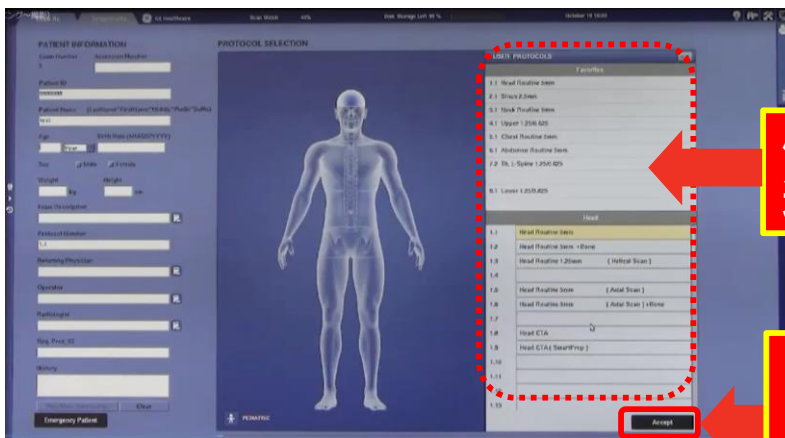
高さは患者体厚の真ん中に合わ
せる

2. 撮影を行います。

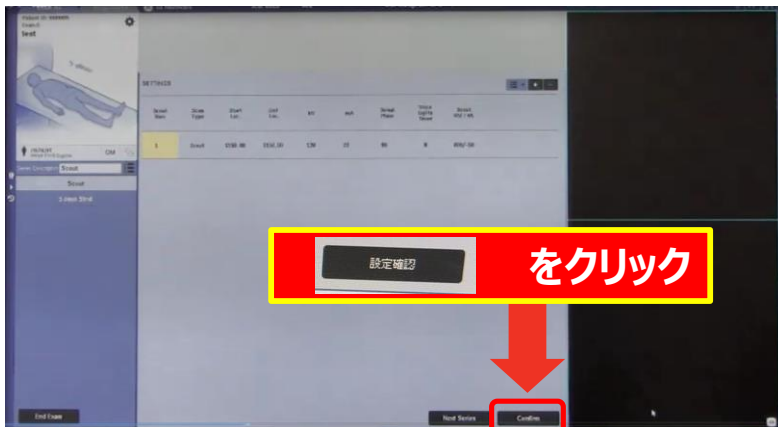
1. 患者情報を入力します。 ※ID入力は必須です。



2. 撮影プロトコルを選択して、画面右下の【確認】をクリックします。



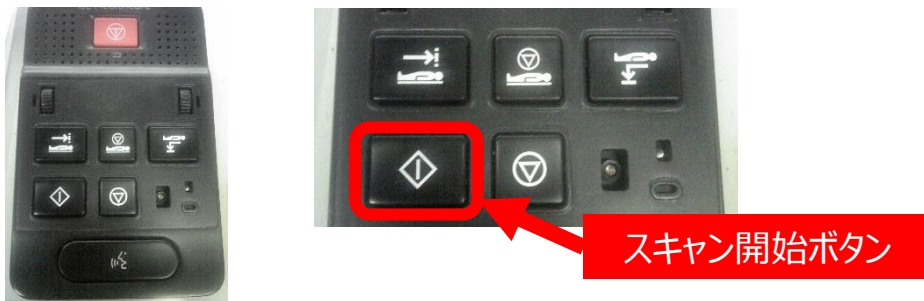
3. スカウト撮影画面が表示されます。【設定確認】をクリックします。



4. 操作用キーボードの【テーブル移動】ボタンが点滅します。押してください。



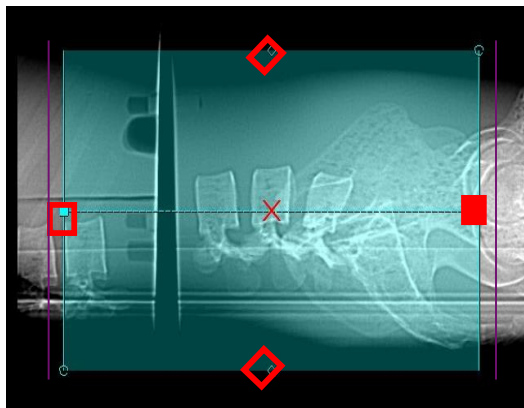
5. 次に【スキャン開始】ボタンが点滅します。押してください。



6. スカウト画像撮影が終了したら、【次シリーズ】をクリックして、本スキャン画面に進みます。



7. 撮影範囲の設定を行います。



◀ 撮影範囲の拡げ方 ▶

■および□の上で左クリックしたまま引っ張って伸ばします。

◀ 中心位置の設定 ▶

キーボードの**Shift**キーを押しながら×の上で左クリックをしたまま動かします。

◀ 上下の幅の変更 ▶

◇の上で左クリックしたまま引っ張って幅の調整をします。

8. 【設定確認】をクリックして本スキャンを行います。

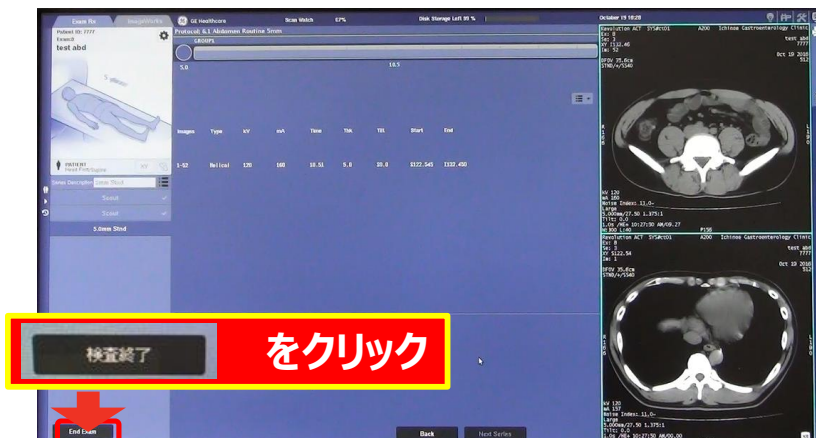


撮影範囲は、目的とする場所を中心に設定してください

■/□ マークを押したままマウスを移動させて範囲を調整してください。

FOVサイズを椎体のサイズに合わせるには、◇マークを押したままマウスを移動させてください。

9. 終了したら、画面左下の【検査終了】をクリックします



10. 操作ボードの【ホームポジショニング】ボタンを押して、患者さまを下します。



【ホームポジショニング】ボタン

CT検査手順

■ 四肢CT撮影

四肢CT撮影

1. 患者さまのセッティングを行います。

- ① 患者様を寝かせて、ポジショニングライトボタンを押し赤いライトを表示させます。
- ② 赤いライトが患者さまの関節付近に来るように、寝台を動かします。
寝台の高さは、四肢が真ん中くらいになるように、調整します。
- ③ 赤いライトで合わせ終わったら、【ポジショニング決定ボタン】を押します。



内側のライトで合わせたらコチラを押す。
ガントリー上の数値は【0】と出る。



外側のライトで合わせたら、コチラを押す。
ガントリー上の数値は【190】と出る。

① ポジショニングライトボタン
押すと赤いライトが出ます

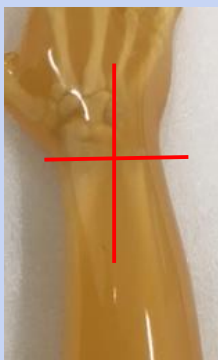
③ ポジショニング決定ボタン
赤いライトで合わせ終わったら押します。

② 赤いライトを合わせる方法については次頁を参照ください。

四肢CT撮影

②赤いライトを合わせる

手関節の場合：



上から見たときの赤いライトは、
患者さまの手首付近に合わせる



高さは患者の手首の幅の真ん中
に合わせる

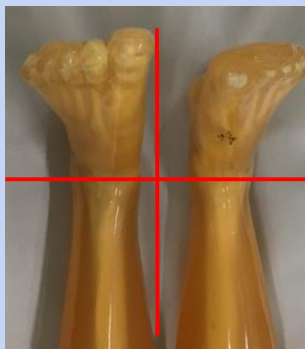
膝の場合：



上から見たときの赤いライトは、
患者さまの膝付近に合わせる

高さは患者の膝の真ん中に合わせる

足関節の場合：

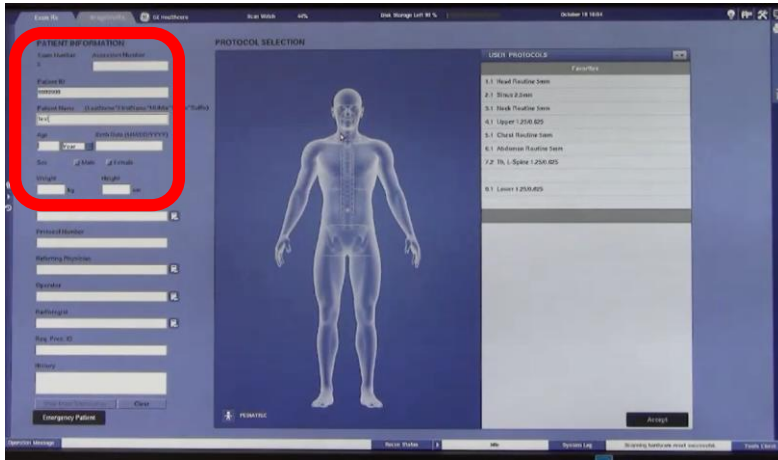


上から見たときの赤いライトは、
患者さまの足首付近に合わせる

高さは患者の足の真ん中に合わせる

2. 撮影を行います。

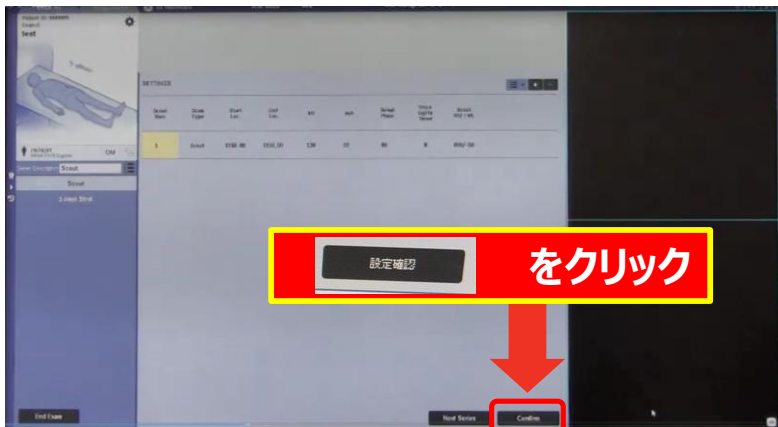
1. 患者情報を入力します。 ※ID入力は必須です。



2. 撮影プロトコルを選択して、画面右下の【確認】をクリックします。



3. スカウト撮影画面が表示されます。【設定確認】をクリックします。



4. 操作用キーボードの【テーブル移動】ボタンが点滅します。押してください。



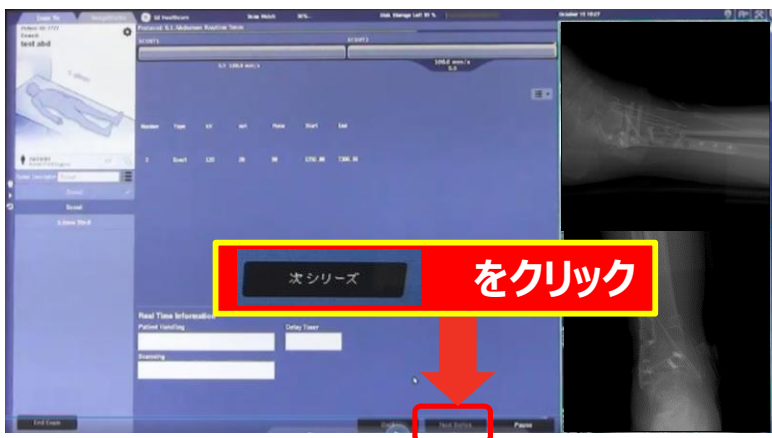
テーブル移動ボタン

5. 次に【スキャン開始】ボタンが点滅します。押してください。



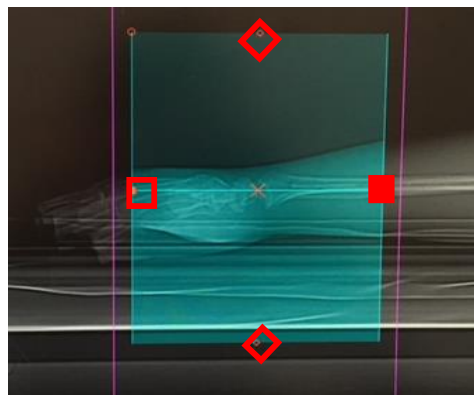
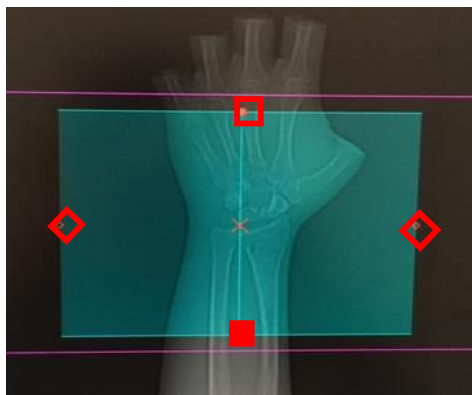
スキャン開始ボタン

6. スカウト画像撮影が終了したら、【次シリーズ】をクリックして、本スキャン画面に進みます。

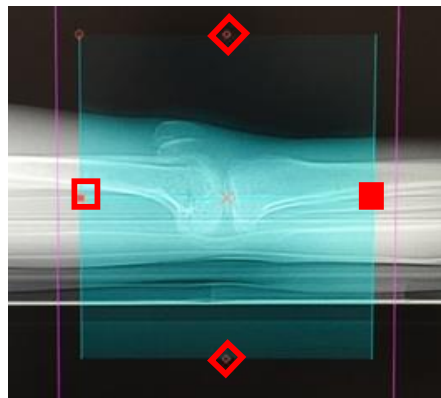
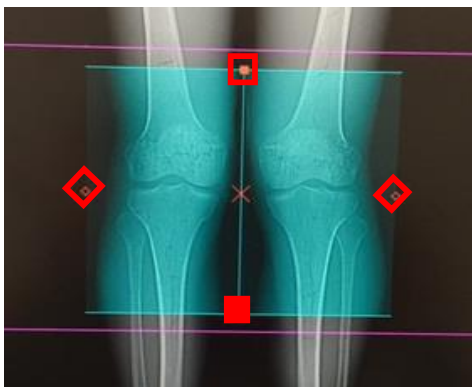


7. 撮影範囲の設定を行います。

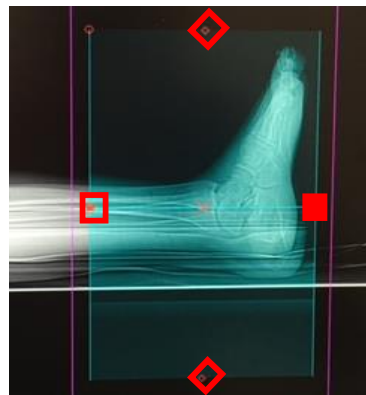
手関節



膝



足関節



《撮影範囲の拡げ方》

- および□の上で左クリックしたまま引っ張って伸ばします。

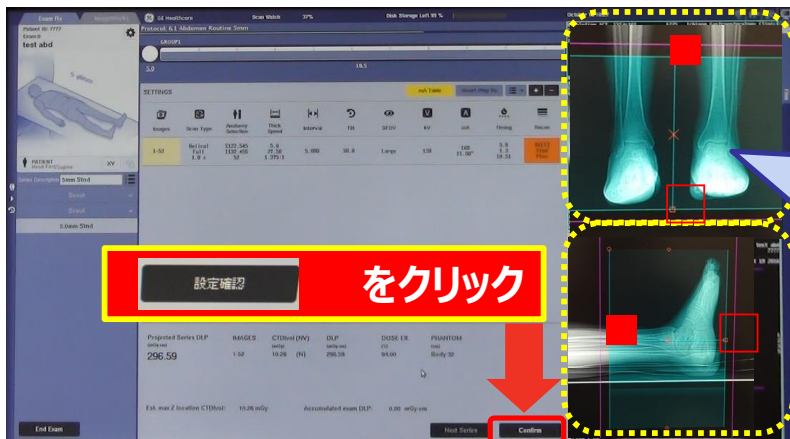
《中心位置の設定》

キーボードの**Shiftキー**を押しながら**x**の上で左クリックをしたまま動かします。

《上下の幅の変更》

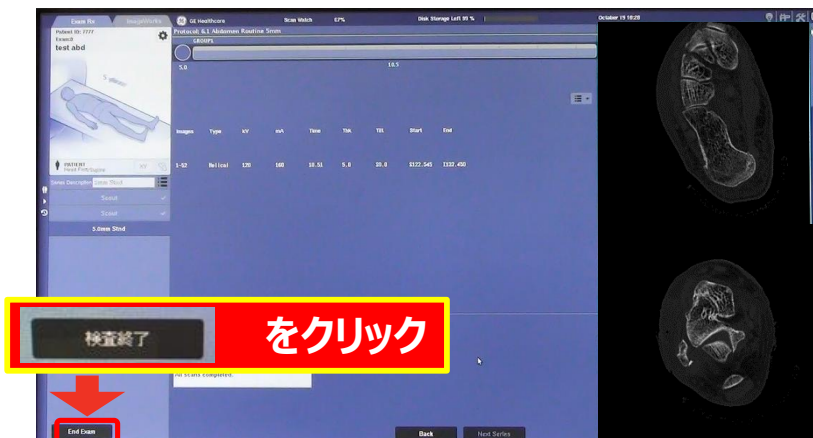
- ◇の上で左クリックしたまま引っ張って幅の調整をします。

8. 【設定確認】をクリックして本スキャンを行います。



撮影範囲は任意で設定してください。範囲調整するには、
■ □ マークをつかんでマウスをドラッグしてください。

9. 終了したら、画面左下の【検査終了】をクリックします



10. 操作ボードの【ホームポジショニング】ボタンを押して、患者さまを下します。



【ホームポジショニング】ボタン

レトロリコン

■ スライス厚を薄くして再出力する手順

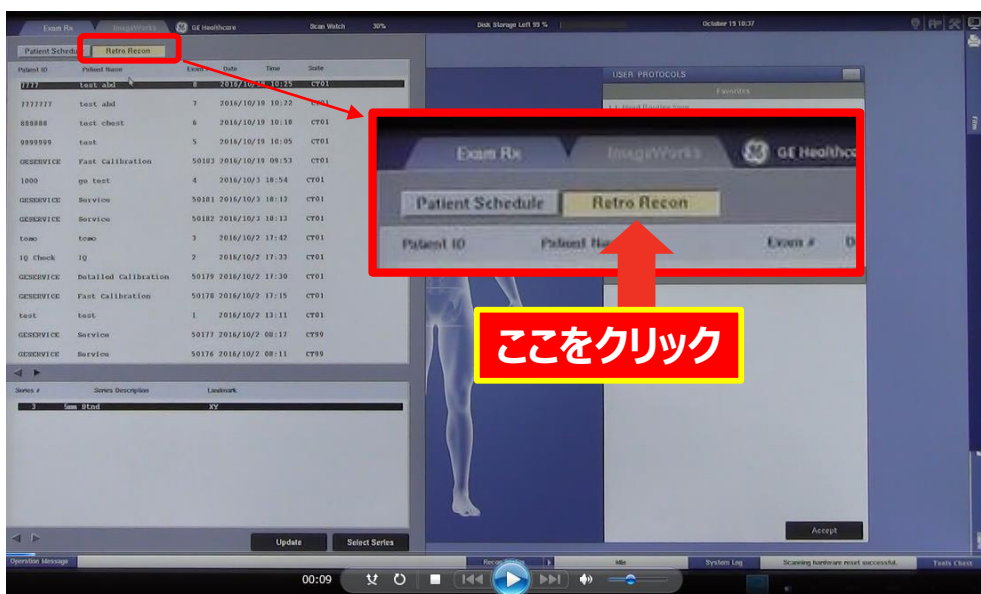
レトリコン

スライス厚を薄くして再出力する

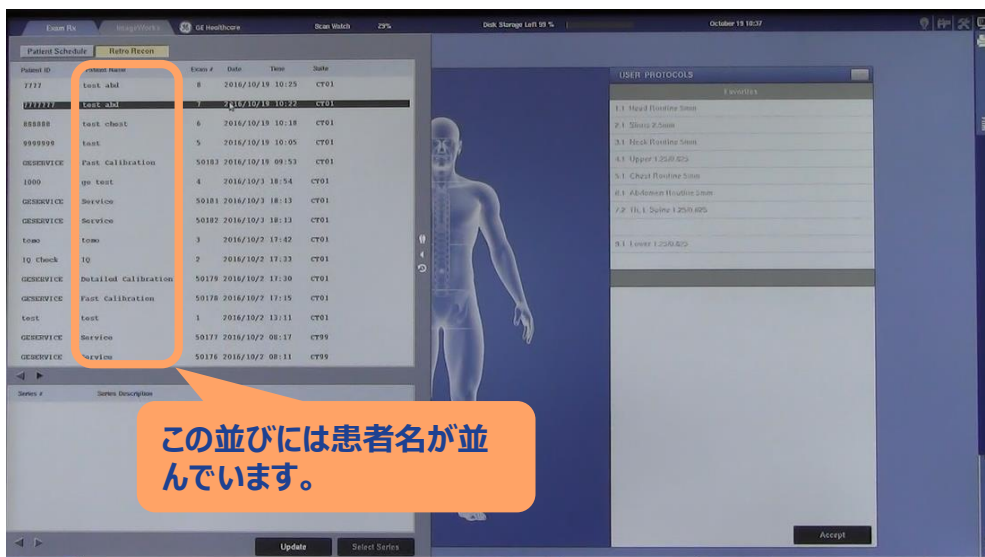
1. 【イグザムRx】画面上で、 をクリックします。



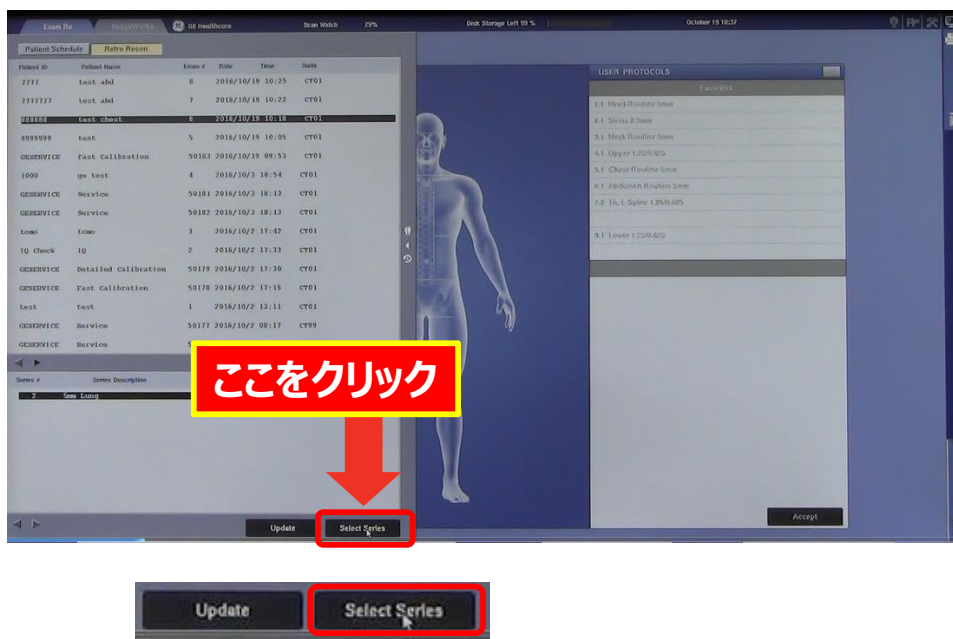
2. 【レトリコン】の方を選択します。



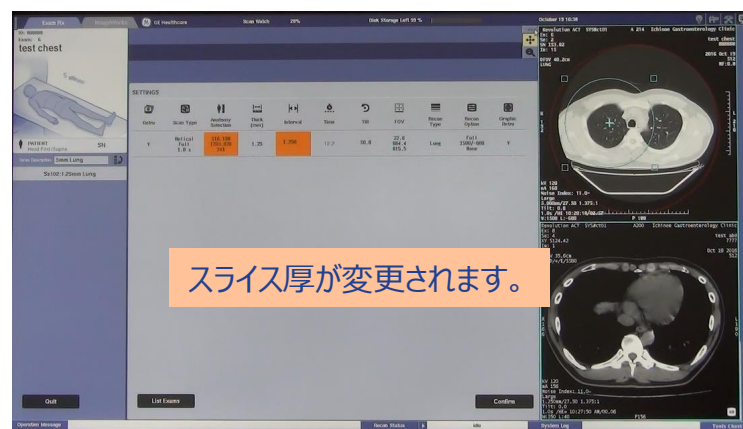
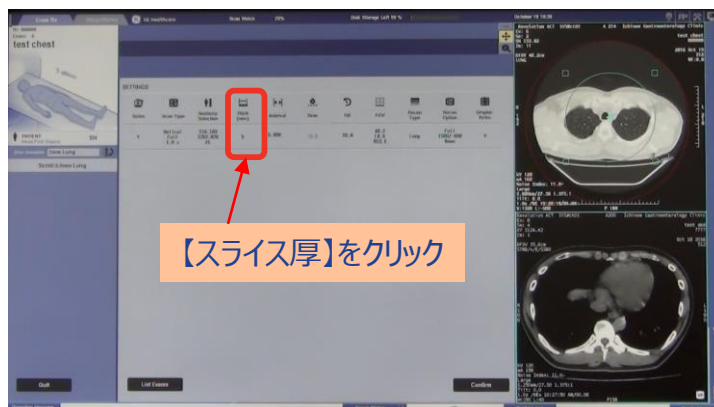
3. 条件を変更して画像を再出力したい患者名を選びます。
その患者名を選ぶと、黒い帯がかかります。



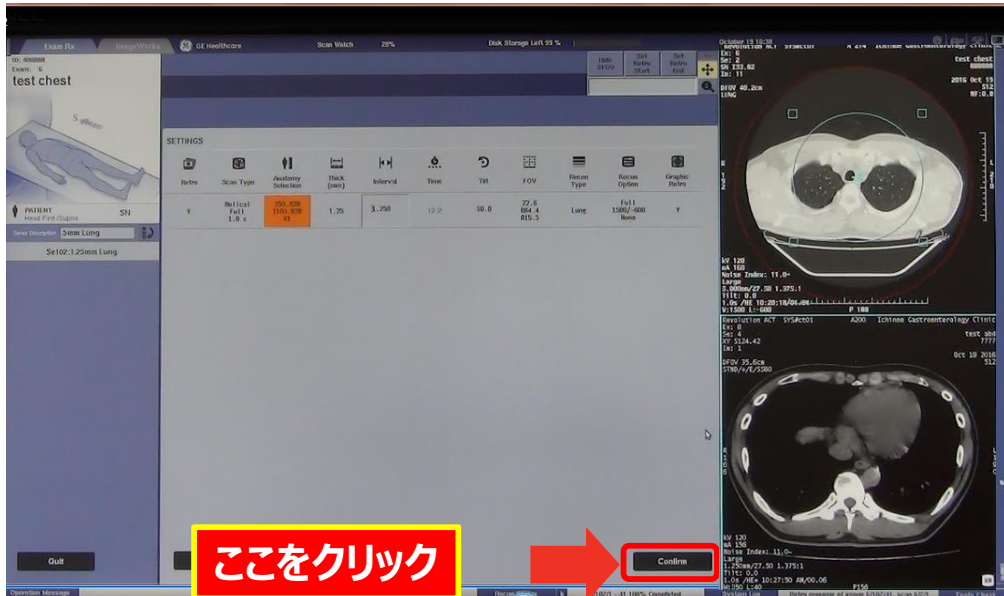
4. 【シリーズ選択】をクリックします。



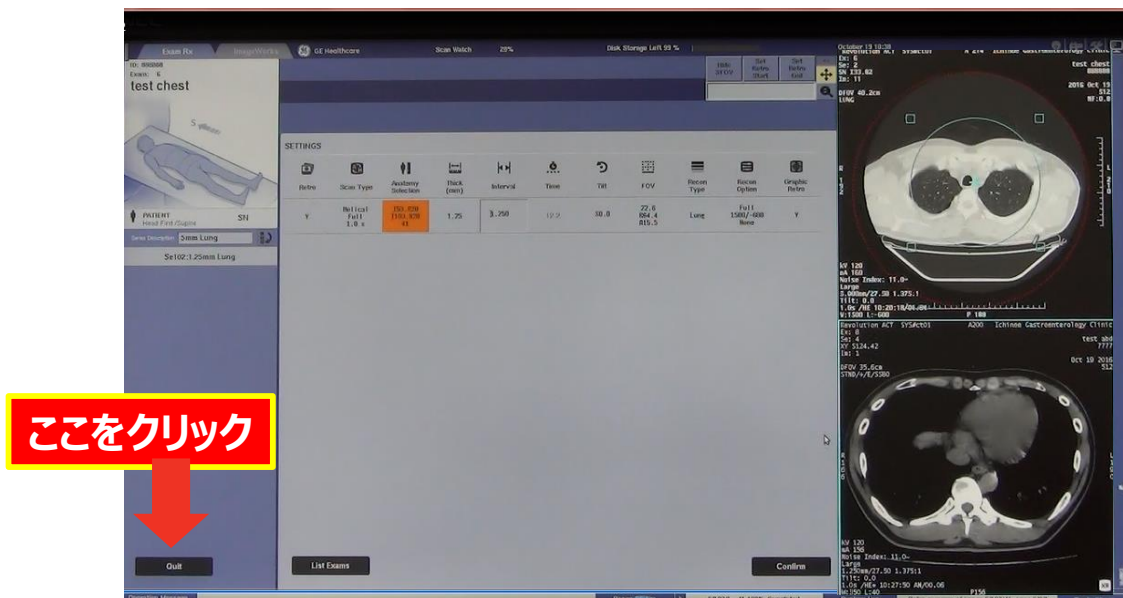
5. 撮影時の条件が表示されます。
【スライス厚】をクリックして、薄いスライス厚を選択します。



7. 全ての設定が終了したら、【設定確認】を押します。
条件が変更された画像が出力されます。



8. レトリコンの作業が終了したら、【Quit】をクリックし、画面を閉じます。



レトロリコン

■ ターゲットリコンの手順

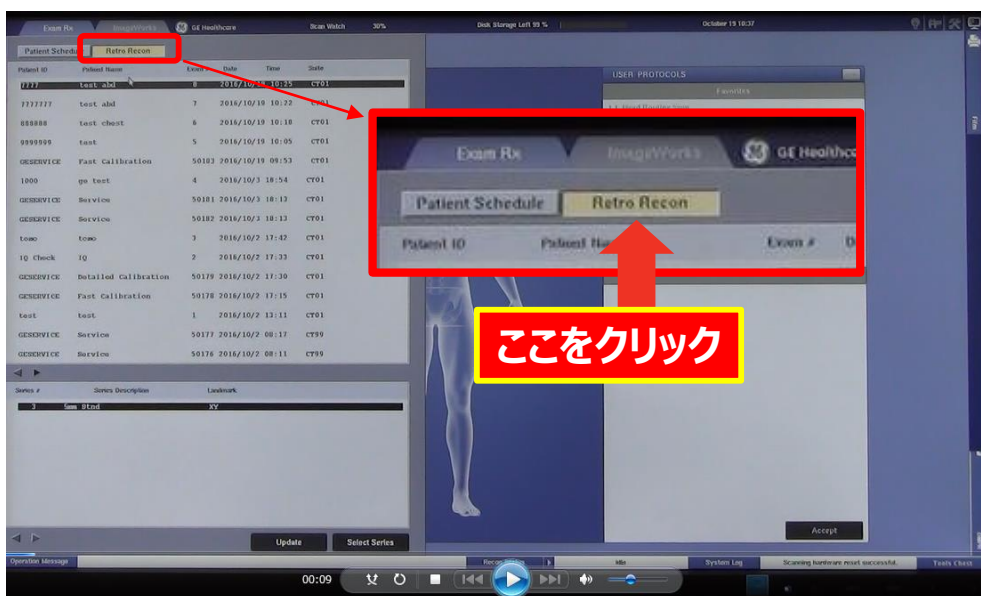
レトリコン

肺野のターゲットリコンをする

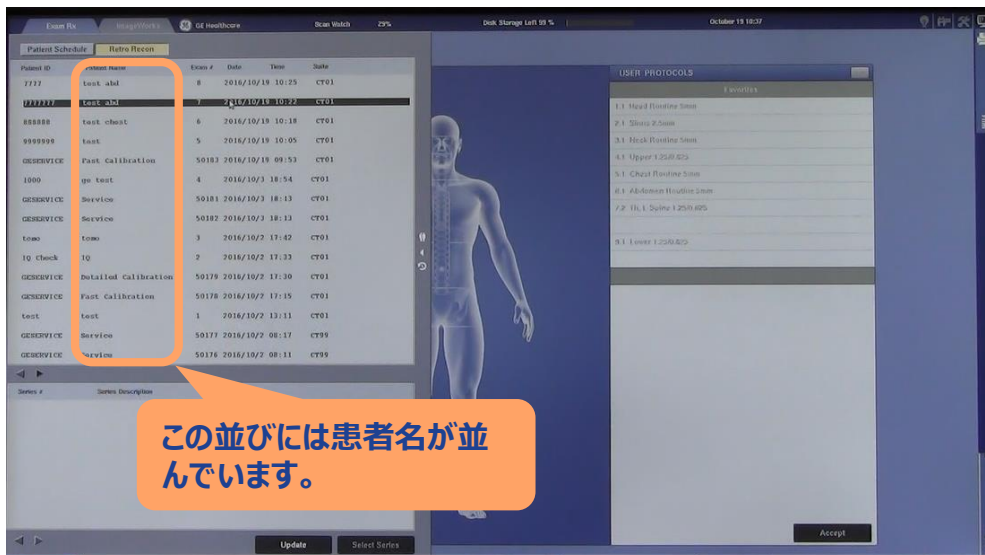
1. 【イグザムRx】画面上で、 をクリックします。



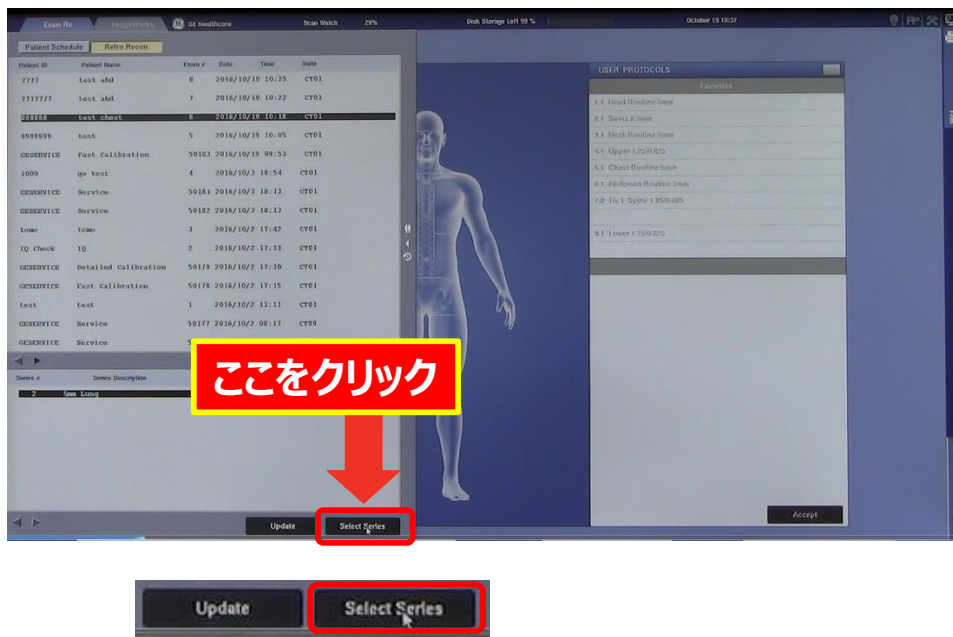
2. 【レトリコン】の方を選択します。



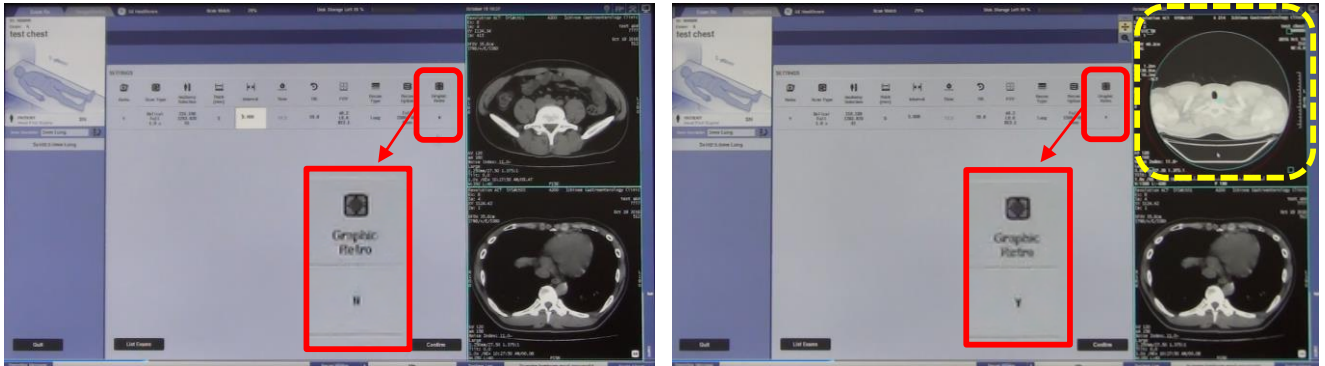
3. 条件を変更して画像を再出力したい患者名を選びます。 その患者名を選ぶと、黒い帯がかかります。



4. 【シリーズ選択】をクリックします。

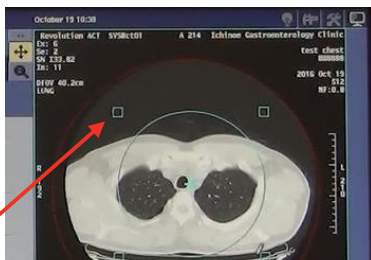
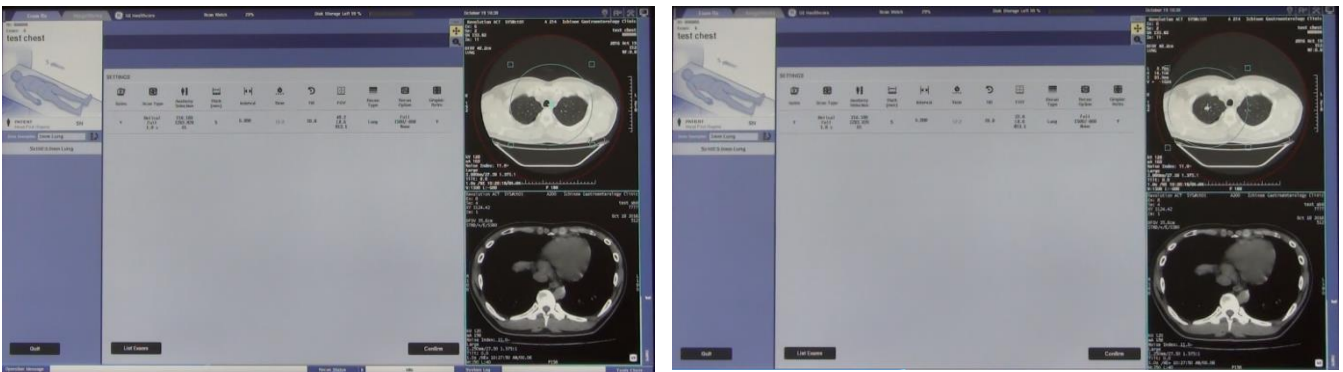


5. 撮影時の撮影条件が表示されます。
 ターゲットを絞るために、グラフィックレトロをNからYに切り替えます。
 右上にその患者さまの撮影時の画像が表示されます。



“N”をクリックすると“Y”に切り替わります。
 (No) (Yes)

6. 青い円形ラインが表示されます。
 これを使ってDFOVのサイズ変更や中心座標の変更を行います。



端の四角形をつかんで、内側⇔外側へドラッグすると、DFOVサイズを変更できます。
 円形ラインに囲まれた部分を出力するので、小さくするとその部分のみに範囲を絞った画像になります。

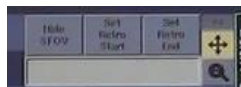


中心座標を動かすには、円形ライン内の十字マークを移動させます。

7. 出力する最初の画像から最後の画像までを決めたい場合は、【開始位置】と【終了位置】にそれぞれロケーションを入力します。

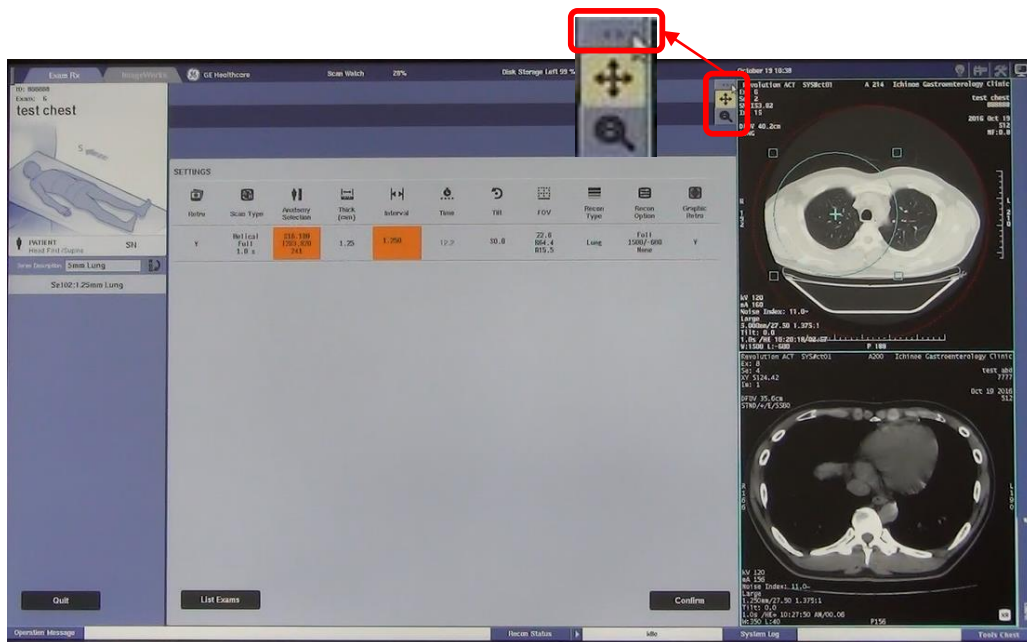


ボタンをクリックすると、



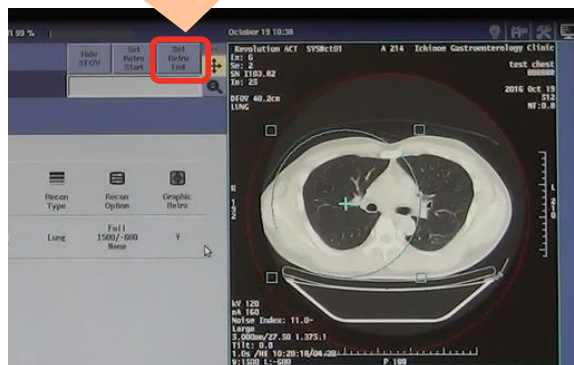
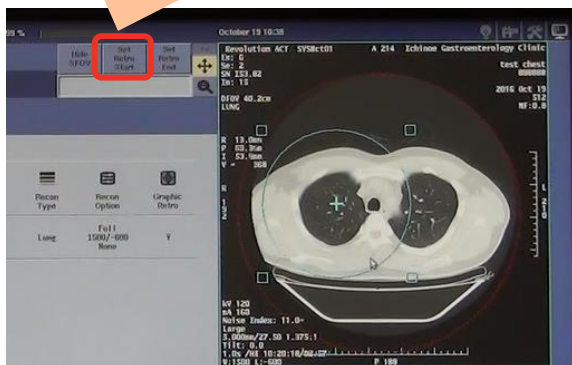
が表示されます。

【レトロ開始位置(Set Retro Start)]を押して最初の画像を登録し、キーボードの【Page Up】/【Page Down】キーを使ってページングして、【レトロ終了位置(Set Retro End)]を押して最後の画像を登録します。

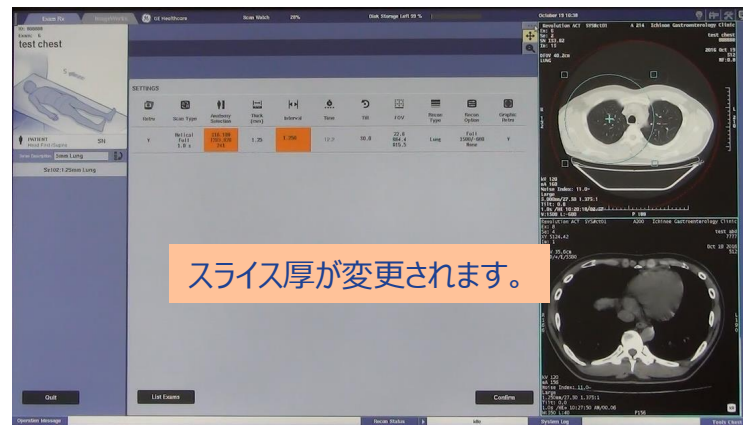
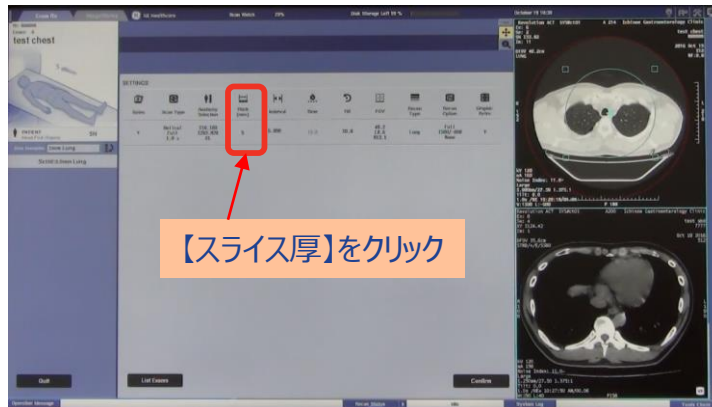


画像をページングして開始画像を表示させて、【レトロ開始位置】をクリックする。

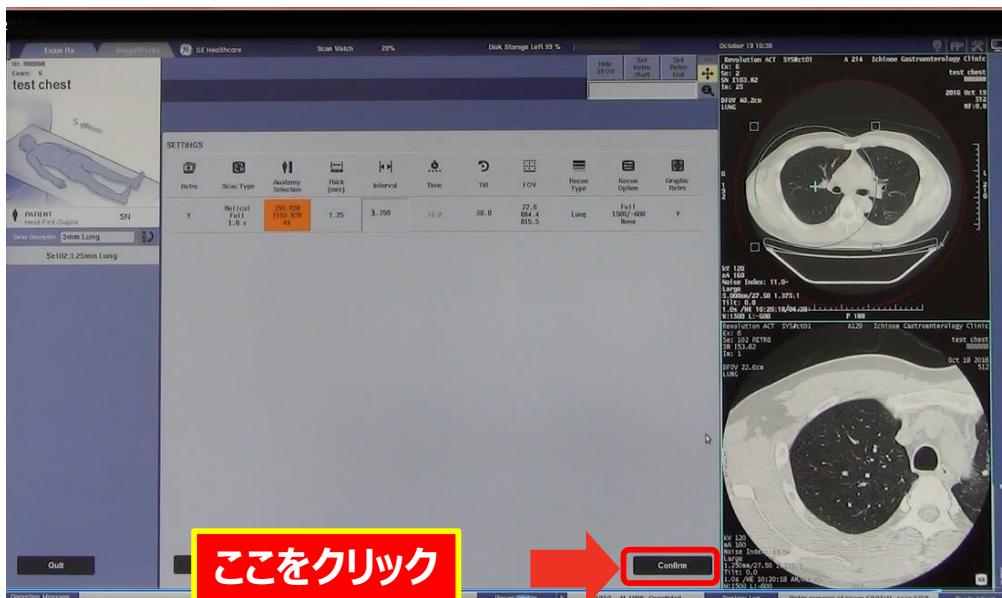
画像をページングして終了画像を表示させて、【レトロ終了位置】をクリックする。



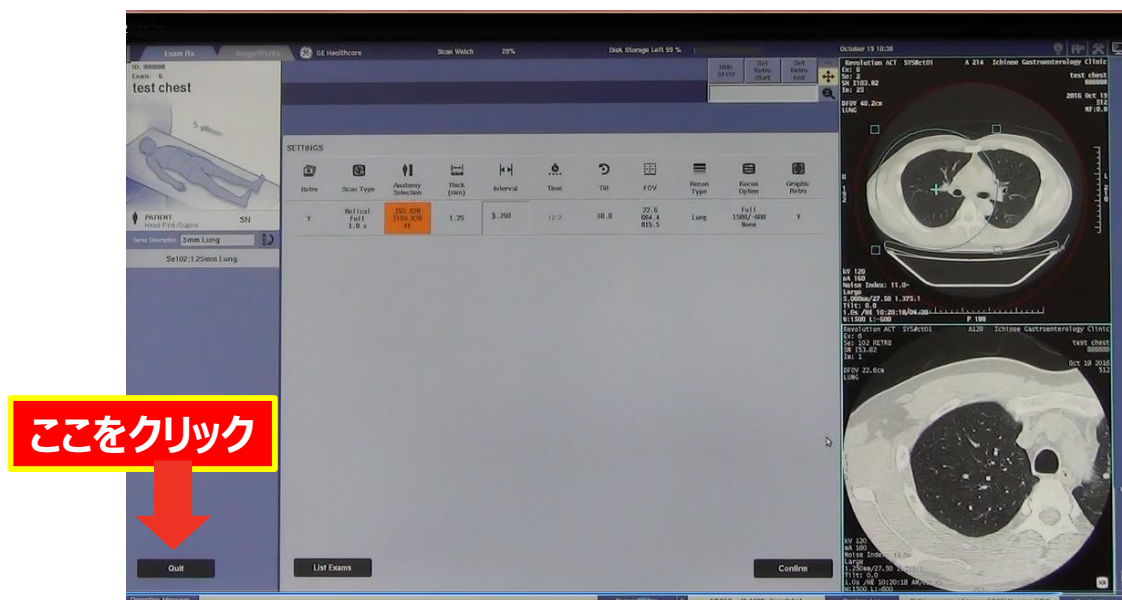
8. スライス厚を薄くしたい場合は、【スライス厚】をクリックして、薄いスライス厚を選択してください。



9. 全ての設定が終了したら、【設定確認】を押します。
条件が変更された画像が出力されます。



10. レトリコンの作業が終了したら、【Quit】をクリックし、画面を閉じます。

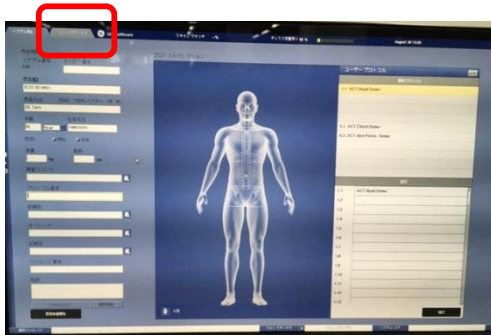


画像処理：MPR作成

■ サジタル・ coronal 画像 作成と保存

サジタル・コロナル画像作成と保存

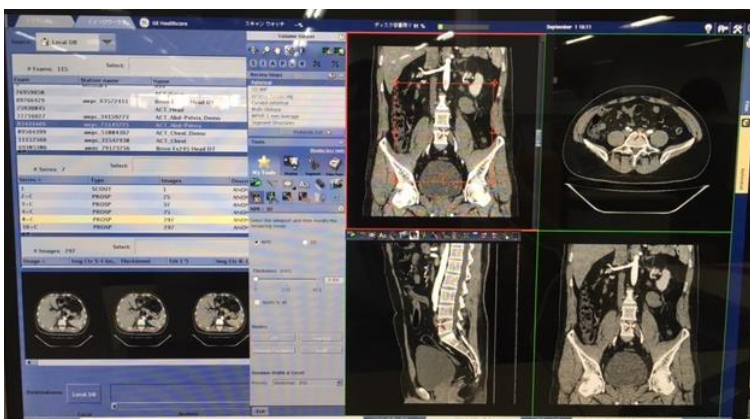
1. 【イメージワークス】をクリックします。



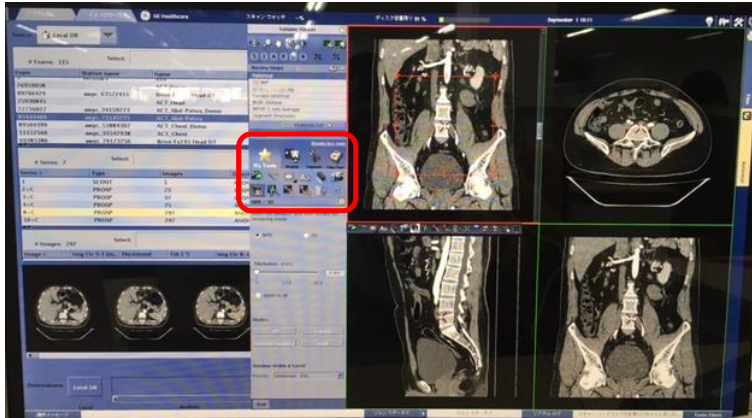
2. MPR作成用のシリーズ画像を選択します。



3. 【Reformat】をクリックします。 下のような画面が立ち上がります。



4. 画面左側の【Film/Save】をクリックし、【Batch】を選択します。

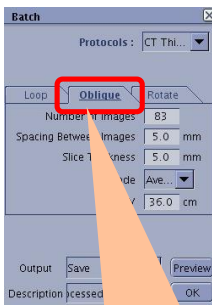


まずここをクリック

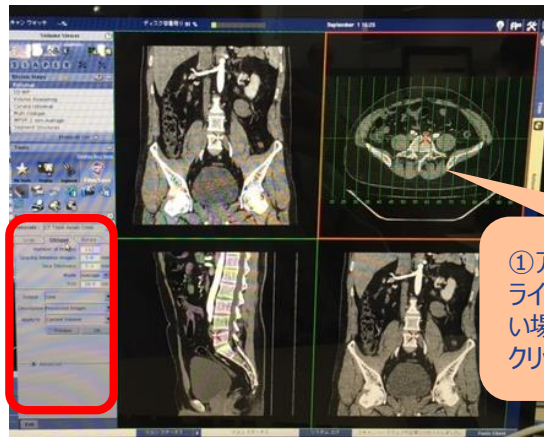


次にここをクリック

5. MPR作成ライン（緑色のライン）を表示させたい画像をクリックして、そのビューポートを第一選択ビューポート（赤色の枠が付きます）にします。Batchツール内の【Oblique】をクリックします。



②次に【Oblique】をクリックしたら、MPR作成ラインが画像上に移動します。




①アキシャル画像上にMPR作成ライン（緑色のライン）を置きたい場合は、まずこの画像上でワンクリックします。


6. MPR作成ライン（緑色のライン）の向き・幅を調整します。 （※MPR作成用ライン調整の仕方は次ページをご参照ください。）




範囲の変更

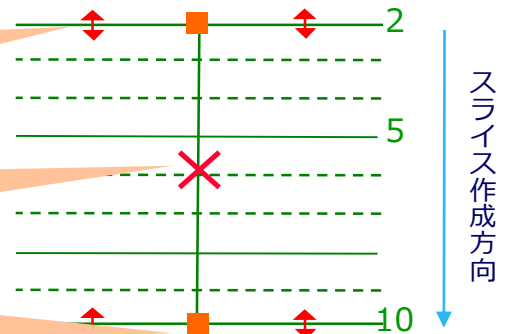
範囲を広げるor狭めるには、赤い矢印（）をつかんで動かしします。

中心位置の変更

MPR作成ライン全体を動かすには、真ん中の×印（）をつかんで動かしします。

角度の変更

患者さまの角度が歪んでいる場合、その歪んだ角度に合わせるには赤い四角（）をつかんで傾けたい方向へ動かしします。



7. 【Batch】ツール内の設定を行います。

①～④までを設定します。

- ①作成する枚数
- ②スライス間隔[mm]
- ③スライス厚[mm]
- ④FOVの大きさ[cm]

8. 設定したら、右絵の⑤をクリックして保存前の画像を確認します。

9. Preview画面を閉じるには【Close】をクリックします。

10. ⑥がSaveになっていることを確認し、⑦にシリーズ名を入力し、「OK」をクリックします。

11. 画面下の【Exit】をクリックしてReformat画面を閉じます。保存した画像はイメージワークス上に別シリーズとして載ります。

